

NPO法人大学図書館支援機構

高野 真理子

2009 NACSIS-CAT/ILL ワークショップ

2009 年 12 月 3 日

## NACSIS-CAT/ILL セルフラーニング教材の現状と課題

NACSIS-CAT/ILL セルフラーニング教材は、2006 年度から開発が始められ、現在「目録システム講習会」「ILL システム講習会」の事前学習として、また、申込みを受けて広く一般に利用が可能となっている。この講義では、e-ラーニング化の主旨を説明し、セルフラーニング教材（以下、SL 教材）の目的と基本設計、既存教材の概要と評価を述べ、今後の課題を提示する。この講義自体をワークショップの PBL (Problem Based Learning) の問題提起として位置付けるものである。

### 目次

1. SL 教材開発の経緯と背景
2. SL 教材の目的＝基本設計
3. e-ラーニング教材開発
4. 既存教材の概要
5. 既存教材の評価
6. 今後の SL 教材開発の課題

### 1. SL 教材開発の経緯と背景

「書誌ユーティリティ課題検討プロジェクト」（2004.11 発足）

《問題意識》

- ・ 重複書誌レコードの頻発に代表される図書ファイルの品質低下
- ・ 雑誌所蔵データ未更新による雑誌ファイルの品質低下
- ・ ILL 謝絶率の上昇等による ILL サービスの品質低下

⇒ 「目録所在情報サービスを対象とする講習会等に関する検討ワーキング・グループ」（2005.12-2007.3）

『最終報告書』<sup>1)</sup>

- 現行の目録系研修の改善方策
  - 研修体系の見直し
  - 講習内容理解度の確認テストの導入
  - 効果的な e-Learning の実現策
- 目録担当者のスキル向上
  - 目録担当者のコンピテンシー
  - 目録担当者のスキル認定
- 地域活動との連携
- 海外書誌ユーティリティの調査

### NACSIS-CAT/ILL の現状

- 同時接続端末台数（2008年度 平日）約5,000に対し、  
1 年間の目録システム講習会受講者数(NII会場)：32人×10回=320人（砂漠に水をまくよう）
- 目録入力業務のアウトソーシング増加

### 誰でも、いつでも、どこでも学習できる環境の整備の重要性

- 受講者アンケート<sup>2)</sup>によれば、講習会受講前に既に業務経験があるという答えが、全体の74.2%  
⇒いわば潜在的無免許運転の実態  
(受講前の業務経験あり 図書：71.1%、雑誌：68.0%、ILL：79.0% 但し、登録に限定せず)

## 2.SL教材の目的=基本設計

ID (Instructional Design)の手法に従い、目録システム/ILL システム講習会の e-Learning コースについて検討し、次のとおり設計を行った。<sup>1)</sup>

- ①. 当面はWeb ベースの自習型 (self-paced) のe-Learning コースを開発する。
- ②. 目録システム講習会の内容を複数のユニットに分割する。
- ③. システム操作を伴わない「目録システム概論」「目録情報の基準」等のユニットについては、優先的に集合研修からe-Learning に置き換える。
- ④. 上記ユニットのe-Learning 化に伴い、従来集合研修で講師が補足説明する事項についても含める。
- ⑤. 時間配分の関係で、従来集合研修で充分説明ができていなかった「記述文法」を、新たに独立ユニットとして作成する。
- ⑥. 他のユニットのe-Learning 化も順次計画的に進め、講習内容全体のe-Learning 化を目指す。
- ⑦. ILL システム講習会は操作説明の要素が強く、目録システム講習会と比較して集合研修の必要性が薄いことから、今後現行の自習システム“NACSIS-SL/ILL”の改訂を行い、e-Learning のみでも、研修の目標が達成できるように設計する。

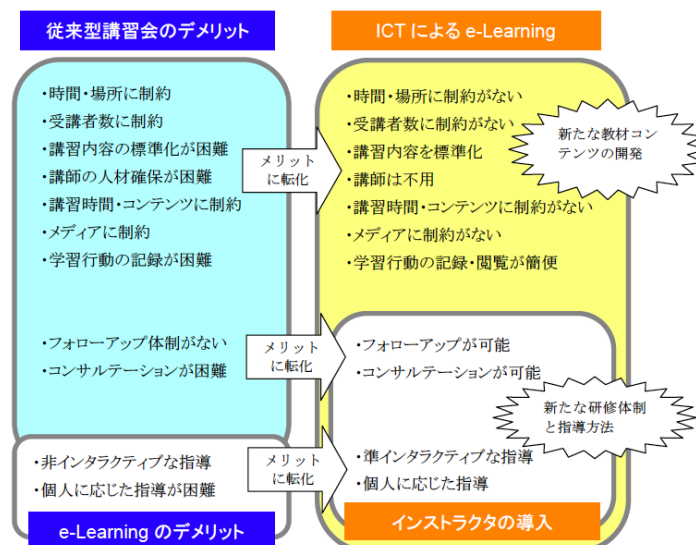


図 5 効果的な e-Learning の実現策

コンピテンシーとSL教材

「知識」の習得と目録の「スキル」

(現行の講習会の目的)

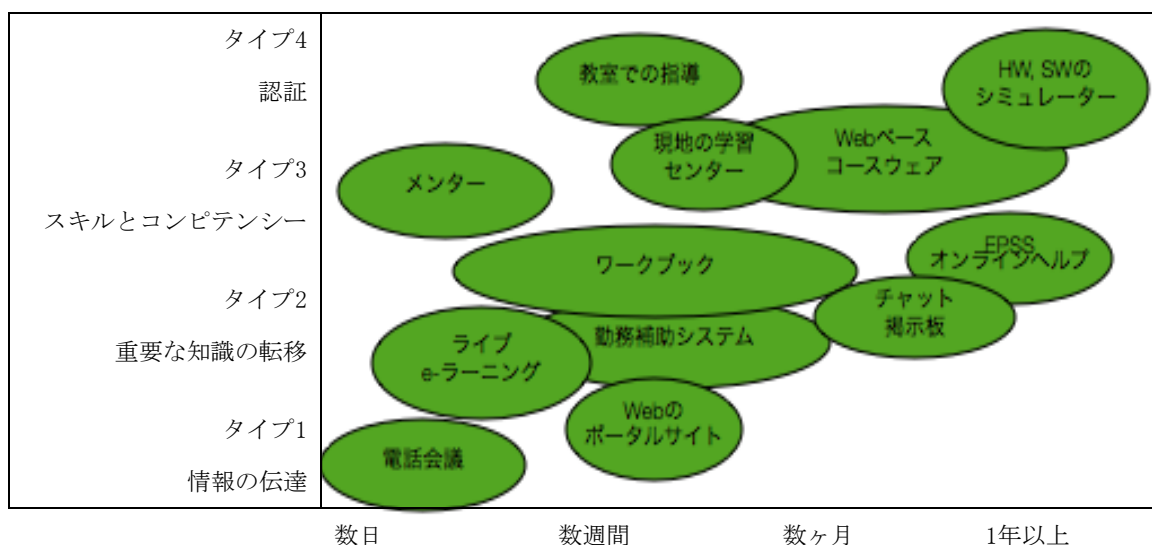
	目的	到達目標
CAT	目録所在情報サービス参加機関の目録業務担当者が共通に理解しておくべき、総合目録データベースの構成、内容、データ登録の考え方(入力基準)を修得する。	目録情報の基準、コーディングマニュアル等適切な参考資料類を参照しながら、NACSIS-CAT への所蔵登録・書誌登録・書誌修正等、目録情報の入力業務を行うことができるようになる。
ILL	NACSIS-ILL システムの運用方法等に関する知識を修得する。	ILL システム操作マニュアル等適切な参考資料類を参照しながら、NACSIS-ILL システムを使用して、書誌検索、複写/貸借の依頼や受付等、相互利用業務を行うことができるようになる。

3.e-ラーニング教材開発

インストラクショナル・デザインの観点による研修システムの構築法

- インストラクションとは、エデュケーションより広い意味で、教えるのみではなく、教材を選択する、学習者の準備状況を見極める…等の活動を含む。<sup>3)</sup>
- e-ラーニング化は単に従来の対面型講習会をそのままWebベースに置き換えるものではない。
- 開発プロセスADDIE  
分析(Analysis)、設計(Design)、開発(Development)、実施(Implementation)、評価(Evaluation)の5つのフェーズからなる。<sup>3)4)5)</sup>
- 分析(Analysis)における、目的の確認と、学習目標分析の重要性  
コース全体についての目的から、個々のプログラムのより具体的な学習目標へと進める。構成を考える以前に、まず、コース全体の目的を再確認する必要がある。<sup>4)5)6)</sup>

ブレンディッド・ラーニング



## その他の方法

- クイズ、ゲーム、PodCast、YouTube等  
(参考サイト：<http://www.l-learning.jp/xoonips/>)
- マルチデバイス化 (iPhone、Nintendo DSi、PSP、Windows Mobile、Android、Nintendo Wii、等)

## 4.既存教材の概要

## 《教材の種類》

CAT 編		目録システム講習会テキスト	
目録所在情報サービス(NACSIS-CAT/ILL)とは (CAT 編/ILL 編共通)	約 20 分	1. 目録システム概論	
目録システム(NACSIS-CAT)入門	約 50 分		
目録情報の基準. 図書編	目録情報の基準. 雑誌編	約 85 分	2. 目録情報の基準
目録検索	約 50 分	3. 目録検索	

ILL 編		ILL システム講習会テキスト
目録所在情報サービス(NACSIS-CAT/ILL)とは (CAT 編/ILL 編共通)	約 20 分	1. ILL システム概論
ILL システム(NACSIS-ILL)入門	約 25 分	
ILL システム基本操作(1)-目録検索	約 30 分	2. 目録検索
ILL システム基本操作(2)-複写業務	約 35 分	3. 複写業務の基本操作
ILL システム基本操作(3)-貸借業務	約 45 分	4. 貸借業務の基本操作
ILL システム応用操作(1)-いろいろな依頼と受付	約 50 分	5. 応用操作(1)
ILL システム応用操作(2)-問い合わせと回答	約 85 分	6. 応用操作(2)
ILL システム応用操作(3)-海外機関との ILL	約 40 分	7. 外部依頼機能
ILL システム応用操作(4)-補講	約 30 分	8. 補講

## 《教材内の構成》

LMS (Learning Management System) はRENANDIを使用

構成：アニメーション (Flash)、ナレーション、参考資料へのリンク、用語解説 (ポップアップ)

各教材のはじめに、「学習目標」を設定

例) 『NACSIS-CAT/ILLとは』：目録所在情報サービスの存在意義と概要を知り、各自の業務との関連を指摘できるようになる。⇒知識

例) 『ILL基本操作(1)目録検索』：ILLシステムにおける目録検索の概要を理解し、基本的な操作方法を習得する。⇒スキル

各章ごとにクイズを設ける

08年度までは教材をSCORM標準化

09年度から印刷用原稿のダウンロード機能追加

## 5. 既存教材の評価

《受講者アンケートより》<sup>2)</sup>

	SL 教材のレベル			SL 教材内容		SL 教材理解度	
	適当	低い	高い	適当	不適當	できた	できなかった
図書	87.9%	1.0%	11.1%	91.9%	8.1%	77.5%	22.5%
雑誌	87.3%	1.9%	10.8%	92.4%	7.6%	74.5%	25.5%
ILL	94.6%	1.8%	3.6%	93.8%	6.3%	83.9%	16.1%

## 6. 今後のSL教材開発の課題

CAT編の全体像

学習目標の確認（スキルを目標とした場合のカリキュラムと、知識を目標とした場合のカリキュラム）

実習部分のe-ラーニング化について（クライアントに左右されない手法）

## 参考文献

- 
- 1) 『目録所在情報サービスを対象とする講習会等に関する検討ワーキング・グループ 最終報告書』2007.3  
<http://www.nii.ac.jp/hrd/ja/cat-tr-wg/index.html>（アクセス2009.11.22）
- 2) 受講者アンケート：H21\_講習会受講者アンケート結果まとめ\_20091119 (非公開)
- NACSIS-CAT目録システム講習会図書コース：NII会場4回、北大、京大、神戸大、長崎大、東北大、群馬大、岡山大、名古屋大、関西学院大
- NACSIS-CAT目録システム講習会雑誌コース：NII会場3回、香川大、大阪市大、九大
- NACSIS-ILLシステム講習会：NII会場3回、広島大
- 以上、2009年度11月19日までに集計が終了した講習会の結果
- 3) R.M.ガニェほか著『インストラクショナルデザインの原理』北大路書房 2007.8
- 4) 齋藤裕ほか著『eラーニング専門家のためのインストラクショナルデザイン』東京電機大学出版局 2006.5
- 5) ジョシュ・バーシン著『ブレンディッドラーニングの戦略：eラーニングを活用した人材育成』東京電機大学出版局 2006.3
- 6) 内田実著『実践インストラクショナルデザイン：実例で学ぶ教育設計』東京電機大学出版局 2005.3